



好きな人の笑顔 (*^-^*)



うらじゃ連「古今東祭」



どんなのにする???



皆で踊ったよ (^_^)



看板できた~!!!



いらっしやいませ~(*^-^*)



準備OK!?



ありがとうございます!



ひかりの実、描いてね~!

~ 7月6日(土)

うらじゃを踊ろう! 山陽団地夏祭りに出店しよう① ~

夏と言えば、お祭り! 岡山と言えば「うらじゃ!」ということで、次回の活動は地域のお祭りへの参加をするので、準備と練習、そして、「うらじゃ」を踊りました。20日は、山陽団地の夏祭り。公園の周辺には「ひかりの実」が灯ります。子どもたちは、今年も「笑顔(ひかり)の実」の実の作製に参加しました。その後、看板の制作と販売と練習です。看板は個性豊かなものが仕上がりました。この看板を目印に皆さんにアイランドテントに足を運んでいただけただけでしょうか?

会場を2丁目の集会所から、山陽西小学校の体育館に移し、うらじゃ連「古今東祭(ここんとうざい)」をお迎えし、迫力ある踊りを見せていただきました。「すごいなあ!」「いっぱい練習したんだろうな。」それぞれに感じたものがあつたようです。次は、皆で円になって「総踊り」を踊りました。最初に踊りを教えていただきましたが、実践あるのみ! 掛け声と連の皆さんの踊りを真似て、皆で楽しく踊ることができました。体を動かす楽しさ、皆で踊る楽しさ、色々な楽しさを感じながら「うらじゃ」を踊り、みんなで盛り上がることができました。

~ 7月20日(土)

山陽団地夏祭りに出店しよう② ~

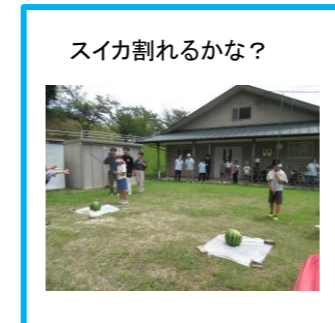
子どもたちも夏休みに入りました。ボランティアさんが、カレーを作り、子どもたちの作った看板を設置し、本番を迎えました。子どもたちはエプロンを身に着け、自分の担当の位置につきます。低学年は呼び込み。中学年は、カレーの引き渡し。高学年は、お会計です。18時になると、「いらっしやませ~! カレーはいかがですか~?」大きな声で呼び込みを始めました。地域の方が次々とカレーを買ってくださり、「ありがとうございます。お礼も忘れません。子どもたちは、自分たちの仕事に一生懸命取り組み、予定より早めに完売しました。隣では、前回取り組んだ「ひかりの実」のブースのお手伝い。初めてやる方に描き方を教えたり、声を掛けて呼び込みをしたりと、子どもたちは大活躍のお祭り出店でした。暑い中でしたが、よく頑張りました。



勉強中!



クイズ難しいなあ...



スイカ割れるかな?



皆で食べると美味しいね



手を切らないでね!



高校生による講座



講師:橋本 智明先生



農家さんに感謝!

真剣そのもの



丁寧に切ります



完成間近!!



中学生ボラ大活躍!



ピタゴラススイッチ完成~!

~ 7月26日(金)・27日(土)

子ども寺子屋 ~

1日目。友達と一緒に夏休みの宿題をしよう!という事で、子どもたちは2丁目の集会所に集まりました。瀬戸高やアイランドOBのボランティアが参加してくれたので、数人に1人ついて、お兄さん・お姉さん先生のもと、子どもたちは勉強に集中! 静か取り組み、あっという間に時間が過ぎていきます。勉強の後は、レクリエーションとしてクイズとスイカ割りを楽しみ、お昼は、皆で素麺とスイカを食べて、夏を堪能しました。

2日目。「瀬戸高校のお兄さんから学ぶSDGs!」ということで、高校生が授業で学習した「フードロス」について、子どもたちにも知って欲しいと、今回子どもたちに食べ物の大切さを教えてくれました。高校生たちが、形が悪くて廃棄される野菜を農家さんからいただき、その野菜を使って自分たちでお昼ご飯を作ります。子どもたちは「ツナ入りポテトハンバーグ」作りに挑戦。高校生やボランティアさんに作り方を教えてもらいながら作りました。そして、「1人が1年間に残す給食の量は?」などクイズ形式で、子どもたちに分かりやすく、「フードロス」について教えてくれたので、子どもたちは、食べ物を大切にすることについて、真剣に考え、学ぶことができました。お勉強の後は、「どうもろこしご飯・ポテトハンバーグ・コンソメスープ」で、美味しいご飯タイムとなりました。

~ 8月24日(土)

ピタゴラススイッチに挑戦しよう ~

前回の終わりに「次はピタゴラススイッチを作ります。」と子どもたちに案内すると、一斉に「イエーイ! やった~!」という声があがり、子どもたちの関心の高さを感じました。当日は、講師の橋本 智明先生の声に静かに耳を傾け、一生懸命取り組む姿がありました。2時間強の時間、休憩もなしで子どもたちは作り上げました。ものすごい集中力で、ビックリしました。OB 中学生ボランティアの参加も多く、低学年の子は手を借りながら仕上げていきました。完成後、時間がなく、自分の作ったピタゴラススイッチで遊ぶことができませんでしたが、「帰って遊ぶのが楽しみ!」「工作がもっと好きになった!」「苦手と思っていた工作が好きになった!」とそれぞれに感想を持ち、楽しいひと時を過ごせたようでした。